



砂防ボランティア通信

特定非営利活動法人大阪府砂防ボランティア協会

理事長あいさつ

R2年度通常総会を開催

この1年の活動概要報告

危険斜面地等の点検調査

防災啓発活動

研修会・講習会

河川室だより（大阪府）

☆ 理事長あいさつ

大江 徹

会員の皆様には、土砂災害の防止のための調査、啓発など当協会の活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。令和2年度総会につきましては、新型コロナウイルス対策のため、会員にあらかじめ議案書を送付して書面表決をお願いすることにより、会場に参集する会員数を少人数にして開催しました。総会は成立し、各議案について承認を頂きました。会員各位のご理解ご協力にお礼申し上げます。

当協会の主たる事業であった「急傾斜地崩壊危険箇所カルテ更新業務」は、平成24年度から大阪府において土砂災害対策防止法に基づく区域指定（土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域）の基礎調査にシフトされたことで実施されなくなり協会の事業運営に大きな影響がありましたが、平成30年度決算に続き令和元年度決算におきましても、当協会事業に賛同をいただいている各法人の皆様からの会費および寄付金収入、また災害現場等への緊急調査や講習会への講師派遣などについて大阪府河川環境課の支援を得て「一般社団法人 全国治水砂防協会」からの広報・啓発助成金などによりまして事業収支面での改善が図られております。関係者の皆様に改めてお礼を申し上げます。

令和2年度におきましてもなお一層の事業収支の改善を図るとともに、新型コロナウイルス感染対策を適時適切に講じながら、会員の土砂災害に関する技術の研鑽と知識の習得が図れるよう活動



コロナ禍で少人数の参加のもと「津波・高潮ステーション」で開催した令和2年度総会。総会後に例年実施していた会員研修会は講師の方に依頼するなど事前準備していましたが中止しました。

方法にも工夫を凝らして斜面地調査や講習会・研修会を実施することとしております。会員の皆様には引き続きご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

☆ 令和2年度通常総会を開催

令和2年度総会は新型コロナウイルス対策のため会員にあらかじめ議案書を送付して書面表決をお願いし、6月9日（火）「津波・高潮ステーション」1階会議室に参集する会員数を少人数にして開催しました。総会出席者総数は、書面表決27名、委任状提出2名を含めて41名でした。総会は成立し、その全員が議案に賛成し、令和元年度事業報告・決算報告、役員改選、令和2年度事業計画・予算の各議案について了承されました。総会後の理事会では、平井副理事長の退任に伴い河野副理事長、高城理事（地域調整）が選任されました。

今後2力年の執行体制

理事長	大江 徹
副理事長	塚本 雅夫 河野 敬太郎
事務局長	吉村 滋
理 事	服部 登（総務） 東郷 茂（財務） 若菜 邦雄（企画広報） 高城 俊介（地域調整） 松田 賢二（事業調整）
監 事	秋山 敬 木寺 由男
ブロック長	（池田）田中 義宏 （茨木）東郷 茂 （枚方）服部 登 （八尾）川口 恵司 （富田林）若井 健 （鳳）河野 敬太郎 （岸和田）高城 俊介

※会員の現状 正会員84名（斜面判定士62名）、個人賛助会員6名、法人賛助会員16社

☆ この1年の活動概要報告

危険斜面地等の点検調査・防災啓発活動

土砂災害から府民の命を守るため、大阪府や市町村と連携して土砂災害防止のための点検調査や防災意識の向上・啓発に努めました。

昨年度の斜面地点検調査は、土砂災害防止のため6月の土砂災害防止月間において各土木事務所管内で実施される土砂災害危険箇所パトロールに参加しました（7土木事務所、17名参加）。

また、地域からの要請で土木事務所とともに異常個所の緊急調査を池田市と枚方市で実施しました（5名参加）。さらに岸和田土木事務所の協力を得て過去に作成した「斜面地カルテ」等を用いて、岬町、泉南市、熊取町、岸和田市の9地区において斜面地調査を行いました（10名参加）。

防災啓発としては、6月の土砂災害防止月間行事の1つである「砂防フェア」では、茨木市役所及び大阪府三島府民センターにおいて啓発パネルの展示を行いました。さらに大阪府砂防協会が主催する災害講習会において市町村職員を対象に豪雨による災害に関する講演を行い、土砂災害防止の啓発に努めました（1名参加）。また、地すべりの動態観測地である八尾市黒谷「市民の森」の清掃活動に参加しました（2名参加）。



令和2年度土砂災害危険箇所パトロール
池田市旭丘三丁目【急傾斜地】



斜面地カルテに基づく斜面地調査
岬町淡輪地区【急傾斜地】



新会員現地研修会
能勢町野間西山地区【地すべり】

研 修 会・講 習 会

1. 現地研修会—奈良県宇陀市の室生口砂防、室生地すべり、室生山上公園芸術の森—

令和元年11年8日、奈良県宇陀市の国土交通省紀伊山系砂防事務所施工による室生口砂防堰堤工事と県施工の室生地すべり対策事業、また地すべり対策事業と融合した公園（室生山上公園芸術の森）について現地研修会を開催し砂防事業の重要性と地域活性化策について勉強しました。会員24名、大阪府から9名、賛助法人会員からは3名、合計36名が参加しました。今回も奈良県砂防ボランティア協会と協力しての合同研修会でした。



直轄施工による室生口砂防堰堤工事現場



彫刻家ダニ・カラヴァンのデザイン監修により地すべり対策後の跡地を活用し地すべり対策と地域振興の視点から、県によって整備された「室生山上公園 芸術の森」（現在管理は宇陀市）。

2. 新規会員現地研修会

令和2年3月5日、新規会員の技術向上のため池田土木事務所管内の急傾斜崩壊危険箇所や地すべり抑止工の現地研修会を開催しました(5名参加)。

3. 講習会

(1) 令和元年11月27日 大阪府河川協会及び大阪府砂防協会との3者共催による講習会(場所;大阪赤十字会館)

「土砂災害の実態と対策」

国土交通省水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課長 三上 幸三 氏

「近年の災害動向を踏えた水害策 ～ハザード情報の活用とタイムライン防災の実践～」

MS&ADインターリスク総研(株) 上席コンサルタント 日塔 哲広 氏

(2) 令和2年2月7日 近畿ブロック(2府4県)砂防ボランティア協会合同講習会(場所;兵庫県中央労働センター(神戸市中央区))

「さまざまな降雨特性と表層崩壊」

神戸大学 名誉教授 沖村 孝 氏

「砂防への熱き想い」

一般財団法人砂防の父 赤木正雄展示館 館長 赤木新太郎 氏

「阪神大水害デジタルアーカイブの取り組み」

国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所 所長 田中 秀基 氏

「期待高まる砂防ボランティア」

砂防ボランティア全国連絡協議会 会長 亀江 幸二 氏

「兵庫県の土砂災害対策」

兵庫県県土整備部土木局砂防課 副課長 松井 康司 氏



令和元年度現地研修会 奈良県宇陀市の直轄施工室生口砂防堰堤工事現場での参加者

☆ 令和2年度主な事業予定

- ・11月 水害・土砂災害に関する防災講演会(大府砂防協会・河川協会と共同開催)
- ・11月 現地研修会
- ・2月 土砂災害に関する講習会 近畿ブロック(2府4県)砂防ボランティア協会合同開催(奈良県)

☆ お 知 ら せ

- ・当協会会員が砂防ボランティア活動等功労者として受賞されました

6月3日(水)、福岡県福岡市(アクロス福岡)で開催予定でした「令和2年度砂防ボランティア協会全国の集い」はコロナの関係で開催中止となりましたが、当協会から東郷 茂氏が砂防ボランティア活動及び砂防ボランティア団体の運営発展に関して顕著な功績があり、他の模範として推奨に値すると認めら、砂防ボランティア全国連絡協議会会長から砂防ボランティア活動等功労者として受賞され表彰状と記念品が贈呈されました。

・セーフティベストの寄贈

この度当協会の法人賛助会員「共和コンクリート工業（株）」様のご厚意によりセーフティベストを10着寄贈していただきました。風通しの良いデザインと素材で夏場などの現場活動には使い勝手が良いものです。これまでのグリーンジャンパーと活動状況にあわせて使い分けしていきます。

・訃報について

当協会に長く在籍されご尽力いただいております矢野照久さんが昨年2月、藤本光大さんが今年3月に鬼籍に入られました。矢野照久さんは「急傾斜地崩壊危険箇所カルテ更新業務」に大変ご活躍をされ、また藤本さんはH17年4月の事務所移転、H23年度の「15年記念誌」編纂、さらには副理事長として当協会の運営と活動に対して情熱をもって多大なご貢献いただきました。改めてお二人に感謝申し上げます。



前



後（ロゴ入り）

河川室だより

—大阪府都市整備部河川室河川環境課長よりご挨拶—

NPO 法人 大阪府砂防ボランティア協会の皆様におかれましては、日頃より、大阪府の砂防行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。また、6月上旬の土砂災害危険箇所パトロールでは、新型コロナウイルス感染症への配慮が必要な状況にも関わらず、例年同様のご参加を頂きましたことに感謝申し上げます。

さて、大阪府の土砂災害対策は、皆様もご承知のとおり、土砂災害から人命を守ることを最優先とし、土砂災害防止法にもとづく区域指定による土砂災害発生リスクの周知を基軸に、市町村との連携のもと「逃げる」、「凌ぐ」、「防ぐ」の各施策を組み合わせ、総合的かつ効果的に対策を進めています。特に、住民が確実に避難行動をとれるよう、住民自身がワークショップなどを通じて「地区単位ハザードマップ」を作成する取組については、皆様に多大なご協力もいただき昨年末時点で約92%完了と一定の成果を示すことができました。一方、ハザードマップは作成して終わりではなく、住民一人ひとりが理解を深め自らの命を守る行動に役立てていただかなければなりません。そのため、各地域ごとに研修・啓発・訓練などの取組を実施・継続していく必要があります。今後も皆様のご支援が必要となってまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。



大阪府河川室河川環境課長
堀内 浩一

特定非営利活動法人 大阪府砂防ボランティア協会

〒540-0033 大阪市中央区石町2-5-8 日宝中之島ビル4F

TEL/FAX 06-6809-7122

E-mail: osakasabovo@gmail.com

(18 osakasabovo@tea.ocn.ne.jp)

http://o-sabovo.sakura.ne.jp/

—砂防ボランティア会員 募集中!!—

年齢、性別、経験（砂防に関する知識等）は問いません。

＜当協会の構成＞

正 会 員 84名

斜面判定士 62名

賛助会員

個 人 6名

法 人 16社

（令和2年7月現在）

●●●●●●●●●●当協会を支援していただいている法人賛助会員（アルファベット順）●●●●●●●●●●

（株）浅沼組、（株）エヌイーエス、（株）奥村組、共和コンクリート工業（株）、協和設計（株）

（株）建設技術研究所、（株）CPC、（株）セリオス、（株）竹中土木、戸田建設（株）、（株）浪速技研コンサルタント

（株）日本インシーク、日本国土開発（株）、（株）ニュージェック、（株）八州、復建調査設計（株）

●●●●●●●●●●当協会に寄付をしていただいている法人（アルファベット順）●●●●●●●●●●

大日本土木（株）、（株）TMS 柔構、飛島建設（株）